

14号

あなたとJAようていを結ぶ
コミュニティ情報誌



今号は
ようていの
ゆり根
についてじゃ



高原の
風と水と心の
メッセージ



ようてい山麓の8つのJAが1つになりました

JAようていCommunity Information Magazine / Yoo!Yoo!Yooty! Vol 014

2019年10月5日

発行 ようてい農業協同組合

虻田郡俱知安町南1条東2丁目5番地の2

電話 0136-21-2311

URL : <http://www.ja-youtei.or.jp/>

「ゆり根王国」ようつい ～ゆり根のココがスゴイ!!～



ようつい管内でゆり根が多く栽培されています。

理由は、昭和57年に現在のJAようつい真狩支所に茎頂点培養施設が建設されたことにより、ウイルスフリーの球根を安定供給できるようになりました。羊蹄山麓の肥沃で広大な大地、恵まれた自然環境の下、先人の先見性があり、栽培技術の向上、新品種の開発研究に取り組むなどJAと生産者の共同作業が実を結び、JAようついは生産量日本一となつたのです。

次のページから、ゆり根の栄養素や保存方法ゆり根の栽培過程などをご紹介致します。どうぞご覧下さい！

皆

さんは「ゆり根」を食べたことはありますか？一般的におせち料理など和食の本場である関西を中心に消費されているため、あまり馴染み深い野菜ではないかもしれません。しかし、ゆり根の約99%が北海道で生産されており、JAようついはその7割近くを生産しています。

今号は「ゆり根」についてご紹介致します。

ゆり根は高温・多湿を嫌う作物です。かつては全国各地で栽培が行われていましたが、次第に冷涼な気候の北海道に生産が集中し、今ではほとんどが北海道産です。ようつい管内では、二セコ町・真狩村・留寿都村・喜茂別町・京極町にて生産されています。

ようつい管内の食用ゆり根の栽培は、昭和36年に真狩村富里地区の斎藤行雄氏が自家用栽培していた在来種の増殖を試みたのが始まりです。昭和41年には真狩村ゆり根生産組合が設立され、本格的な栽培が始まりました。現在は、苦みの少ないコオニユリを交配親とする品種「白銀」を栽培しています。

